

## 塾長の独り言 NO125 H21 .5 .7

「ネコ型社員の時代」 (ネコ型社員の時代 山本直人 新潮新書より一部抜粋)

### ネコ化する消費

最近になって「いまの若い人はモノを買わない」ということが話題になり始めている。日経流通新聞は、首都圏に住む20代の生活意識や行動を調査して、そのスタイルを2007年8月22日「ミニマムライフ 巣籠る20代」として報じた。

「休日は家にいて」  
「酒は飲まない」  
「クルマは乗らない」  
「貯蓄に熱心」  
「海外旅行に興味ない」  
「デートは自宅」  
「勝負服不要」

クルマに乗らず、海外に行かず、家でゆったりしても十分に楽しい、というそんなライフスタイル。今の20代のそうした行動は、「ネコ型」だからだ。

クルマのようなステータスシンボルで「上昇」を実感することもなく、身の丈で暮らすことに不満を感じにくい。特定のブランドや商品群に「忠誠」を誓うよりも、その時その時で気に入ったものを手に入れればいい。

今、日本文化や落語が若者に人気です。

一連のレトロブームの中で、あの懐かしい昭和30年代

そして今、江戸時代が脚光を浴びています。

何故、封建制度の江戸時代なのか？

それは、大きな成長はないけれど……

四季を愛で、自然を愛して、人と人のつながりの中であくせくしないで生きていければ。

そうした願望が、自然と江戸時代を憧れとして見る潮流を生んでいるように感じられる

五木寛之氏は人間の覚悟の中で、「下山の時代」であると位置づけ「覚悟」を決める大切さを説いた。

「成長しない経済において人々は幸せになれるか？」という課題を突き付けている。

### <コメント>

「草食男子」「肉食女子」…この言葉を知っていますか？

自分用の手作りお弁当…これが今の若い男性に人気らしい

今までの過去の常識が通用しない未来においては、働く目標も変わり働き方も変わることだろう！

そこでは企業の成長よりも、個々人の生活維持の視点を取り入れた発想が必要になる。

ネコ型社員は、こうした時代の潮流を敏感に嗅ぎ取り、自らの生活維持を大切にしようという動物本能から発生してきたものだと思う

ネコは、自分の心地よいところを探し、気持ちよく過ごす術を身につけている。

このネコ型社員を上手に成長させていくことは、会社にとっても、社会全体にとっても実はとっても大切なことである。彼らが能力を発揮し成長できれば、今までの会社員よりも、はるかに「したたかでたくましい」存在になっていくはずである。